



第150号

(昭和48年6月・7月号)

目次

関係法令..... 1

学内規則..... 2

富山大学廃水処理室運営規則の制定..... 2

富山大学廃水処理室運営委員会規則の制定..... 2

富山大学質量分析装置室運営規則の制定..... 3

富山大学質量分析装置室運営委員会規則の制定..... 3

富山大学大学院薬学研究科規則の一部改正..... 3

富山大学教育学部規則の一部改正..... 4

諸会議..... 26

人事異動..... 26

学内諸報..... 27

学位取得者..... 27

学内レクリエーション..... 27

昭和48年度科学研究費補助金交付内定者一覧

海外渡航者..... 28

職員消息..... 29

主要日誌..... 29

関係法令

(官報掲載月日)

法律

○教育職員免許法等の一部を改正する法律(57) 7. 20

○恩給法等の一部を改正する法律(60) 7. 24

○昭和42年度以後における国家公務員共済組合等からの年金の額の改訂に関する法律の一部を改正する法律(62) 7. 24

○国有財産法及び国有財産特別措置法の一部を改正する法律(67) 7. 27

政令

○予算決算及び会計令等の一部を改正する政令の一部を改正する政令(193) 7. 10

○予算決算及び会計令臨時特例の一部を改正する政令(202) 7. 17

○恩給給与規則の一部を改正する政令(205) 7. 24

○恩給法の一部を改正する法律附則第24条第5項及び第11項の服務期間等並びに同法附則第43条の2の外国特殊機関の職員を定める政令の一部を改正する政令(206) 7. 24

○国有財産法施行令の一部を改正する政令(211) 7. 27

○国有財産特別措置法施行令の一部を改正する政令(212) 7. 27

府令

○失業者の退職手当を受けるために必要な手続に関する省令の一部を改正する総理府令(総理34) 6. 11

○恩給法等の一部を改正する法律の施行に伴う恩給年額の改定及び請求手続に関する総理府令(同39) 7. 24

○恩給給与細則の一部を改正する総理府令(同40) 7. 24

○恩給法等の一部を改正する法律附則第3条の仮定俸給年額を定める総理府令(同41) 7. 24

府令・省令

○地方公務員等共済組合法施行規程の一部を改正する命令(総理・文部・自治1) 6. 15

省令

○地方公務員等共済組合法施行規則の一部を改正する省令(自治14) 6. 13

○国家公務員共済組合法施行規則の一部を改正する省令(大蔵41) 7. 24

規則

○俸給等の支給の一部を改正する規則(人事院9-7) 7. 25

訓令

○人事に関する権限の委任等に関する規程の一部を改正する訓令(文部21) 6. 2

○「当用漢字音訓表」の実施について(内閣1) 6. 18

○「送り仮名の付け方」の実施について(同2) 6. 18

○文部省本省職員勤務評定実施規程の一部を改正する訓令(文部22) 7. 2

告示

○漢字の音訓使用の目安を定める等の件(内閣1) 6. 18

○送り仮名の付け方のよりどころを定める等の件(同2) 6. 18

学 内 規 則

富山大学廃水処理室運営規則 の制定

富山大学廃水処理室運営規則を次のとおり制定する。

昭和48年6月25日

富山大学長 林 勝次

富山大学廃水処理室運営規則

(趣 旨)

第1条 この規則は、富山大学（以下「本学」という。）に設置する富山大学廃水処理室（以下「廃水処理室」という。）の運営に関し、必要な事項を定める。

(職 員)

第2条 廃水処理室に、室長およびその他必要な職員をおく。

2 室長は、本学の教授および助教授のうちから第3条に定める委員会の推せんに基づき、学長が命ずる。

3 室長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

4 室長は、廃水処理室の業務を管理する。

5 職員は、室長の命を受け、廃水処理室の業務に従事する。

(運営委員会)

第3条 廃水処理室の運営を円滑にするため、本学に、廃水処理室運営委員会をおく。

2 前項の委員会の組織および運営等については、別に定める。

(事 務)

第4条 廃水処理室の事務は、当分の間、施設課において行なう。

附 則

この規則は、昭和48年6月25日から施行する。

富山大学廃水処理室運営委員会規則 の制定

富山大学廃水処理室運営委員会規則を次のとおり制定する。

昭和48年6月25日

富山大学長 林 勝次

富山大学廃水処理室運営委員会規則

(趣 旨)

第1条 この規則は、富山大学廃水処理室運営規則第3条

第2項の規定に基づき、富山大学廃水処理室運営委員会（以下「委員会」という。）の組織および運営等に関し、必要な事項を定める。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を調査、審議する。

(1) 実験等による廃水の汚染処理に関すること。

(2) 廃水処理室の管理運営の基本に関すること。

(3) 廃水処理室長の推せんに関すること。

(4) その他廃水処理室の重要事項に関すること。

(組 織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

(1) 廃水処理室長

(2) 各学部および教養部から選出された教官 各2名

(3) 事務局長

2 前項第2号の委員は、学長が命ずる。

(任 期)

第4条 前条第1項第2号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、その補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長をおき、委員の互選とする。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、委員長の指名した委員がその職務を行なう。

(議 事)

第6条 委員会は、委員の2分の1以上の出席により成立し、議事は出席委員の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは議長がこれを決する。

(委員以外の出席)

第7条 委員長は必要に応じ、委員会に委員以外の職員を出席させることができる。

(庶 務)

第8条 委員会の庶務は、施設課において行なう。

附 則

1 この規則は、昭和48年6月25日から施行する。

2 富山大学廃水処理委員会内規（昭和47年7月15日制定、以下「内規」という。）は廃止する。

3 この規則施行の際、現に内規第3条第1項第1号の委員または第5条第1項の委員長である者は、この規則第3条第1項第2号の委員または第5条第1項の委員長として在任するものとする。

4 この規則施行後、最初の委員会の委員の任期は、この規則第4条の規定にかかわらず昭和49年7月14日までとする。

富山大学質量分析装置室運営規則 の制定

富山大学質量分析装置室運営規則を次のとおり制定する。

昭和48年6月25日

富山大学長 林 勝次

富山大学質量分析装置室運営規則

(設置)

第1条 富山大学(以下「本学」という。)に質量分析による研究の推進を図るため、富山大学質量分析装置室(以下「装置室」という。)を置く。

(業務)

第2条 装置室は、次に掲げる業務を行なう。

- (1) 本学各部局から委託された試料の質量分析
- (2) その他必要な事項

(職員)

第3条 装置室に室長およびその他必要な職員を置く。

- 2 室長は、本学教授または助教授のうちから第4条に定める運営委員会の推せんに基づき、学長が命ずる。
- 3 室長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 室長は、装置室の業務を管理する。
- 5 職員は、室長の命を受け装置室の業務に従事する。

(運営委員会)

第4条 装置室の運営を円滑にするため、本学に質量分析装置室運営委員会を置く。

- 2 前項の委員会の組織および運営等については、別に定める。

(管理)

第5条 装置室の事務は、当分の間、薬学部において行なう。

(補則)

第6条 この規則に定めるもののほか、装置室に関する必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、昭和48年6月25日から施行し、昭和48年4月1日から適用する。

富山大学質量分析装置室運営委員会 規則の制定

富山大学質量分析装置室運営委員会規則を次のとおり制定する。

昭和48年6月25日

富山大学長 林 勝次

富山大学質量分析装置室運営委員会規則

(趣 旨)

第1条 この規則は、富山大学質量分析装置室運営規則第4条第2項の規定に基づき、富山大学質量分析装置室運営委員会(以下「委員会」という。)の組織および運営等に関し、必要な事項を定める。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 質量分析装置室(以下「装置室」という。)の運営に関すること。
- (2) 室長の推せんに関すること。
- (3) その他装置室の重要事項に関すること。

(組 織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 室長
 - (2) 各学部および教養部の教官各2名
 - (3) 事務局長
- 2 前項第2号の委員は、各学部長および教養部長の推せんに基づき、学長が命ずる。
- 3 前項による委員の任期は、2年とする。ただし、その補欠委員の任期は、前任者の残任期間とし、再任を妨げない。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選とする。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、委員長の指名した委員がその職務を行なう。

(議 事)

第5条 委員会は、委員の2分の1以上の出席により成立し、議事は、出席委員の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは、議長がこれを決する。

(庶 務)

第6条 委員会の庶務は、事務局において行なう。

附 則

この規則は、昭和48年6月25日から施行する。

富山大学大学院薬学研究科規則の 一部改正

富山大学大学院薬学研究科規則の一部を改正する規則を次のように制定する。

昭和48年7月6日

富山大学長 林 勝次

富山大学大学院薬学研究科規則の一部を改正する規則

富山大学大学院薬学研究科規則(昭和42年5月19日制定)の一部を次のように改正する。

別表の製薬化学専攻中

「| 薬品製造化学特論 | 2 |」を
 「| 薬品製造化学特論 I | 2 |
 | 薬品製造化学特論 II | 2 |」に定める。

附 則

この規則は、昭和49年4月1日から施行する。

富山大学教育学部規則の一部改正

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和48年7月27日

富山大学長 林 勝次

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則

富山大学教育学部規則（昭和27年4月18日制定）の一部を次のように改正する。

第1条 第3項の次に次の1項を加える。

- 4 幼稚園教員養成課程の専攻教科は、幼稚園教育とする。
- 第2条から第4条までを次のように改め、第5条を削る。
 （履 修）

第2条 学生の単位修得については、別表Iに示すとおりとし、それぞれの課程に応じて履修基準を定める。
 （一般教育科目、外国語科目および保健体育科目）

第3条 一般教育科目、外国語科目および保健体育科目の履修は、別に定めるところによる。ただし、次の科目は必修とする。

- （人 文）倫理学または哲学のうち1科目 2単位
- （社 会）日本国憲法 2単位
- （専門教育科目）

第4条 専門教育科目の内容は別表II、III、IV、Vに示すとおりとする。

第6条の見出しおよび同条中「（別表I）」を削り、「以上を履修」を「以上を修得」に改め、同条第4項を第5項とし、第3項の次に次の1項を加え、第5項中「前3項」

を「前4項」に改める。

- 4 幼稚園教員養成課程については、幼稚園教育に関する授業科目30単位を含む専門教育科目を履修し、さらに選択履修したものと合わせて計84単位以上を修得しなければならない。

第7条に次の1項を加える。

- 2 幼稚園教員養成課程については、専門教育科目の教科として、音楽、図画工作、体育について、それぞれ4単位を修得しなければならない。

第16条中「別表VI」を「別表VII」に、「別表VII」を「別表VIII」に、「履修」を「修得」に改める。

第6条を第5条とし、第7条から第20条までを順次1条ずつ繰り上げる。

第19条の次に次の1条を加える。

（取得できる免許状の種類）

第20条 それぞれの課程において所定の単位を修得したときに取得できる免許状の種類は、別表IXに示すとおりとする。

別表Iを別紙のように改める。

別表II(イ)を別紙のように改める。

別表III中国語専攻、社会専攻、数学専攻、理科専攻、音楽専攻、図画工作・美術専攻、体育・保健体育専攻、家庭専攻、技術専攻および英語専攻の表を別紙のように改める。

別表IVを別紙のように改める。

別表VIIを別表VIIIとし、別表VIを別表VIIに改める。

別表Vを別表VIとし、同表を別紙のように改める。

別表IVの次に別紙の別表Vを加える。

別表VIIIの次に別紙の別表IXを加える。

附 則

- 1 この規則は、昭和48年10月1日から施行する。
- 2 昭和47年度以前の専門教育課程移行者については、なお従前の例による。

別 表 I

課 程 授業科目の区分	小学校教員養成課程		中学校教員養成課程		養護学校教員養成課程		幼 稚 園 教 員 養 成 課 程
	教育学専攻 教育心理学	教科専攻	甲教科専攻	乙教科専攻	第一類	第二類 甲教科 乙教科	
一科 般 教 育 目	人 文 科 学 社 会 科 学 自 然 科 学 総 合 科 目	36	36	36	36	36	36

外科 国 語目	英 語	8		8		8		8		
	ド イ ツ 語	8		8		8		8		
	計	16		16		16		16		
保育 健科 体目	講 義	2		2		2		2		
	実 技	2		2		2		2		
	計	4		4		4		4		
専 門 教 育 科 目	専 攻 科 目		16	音楽・ 図画工 作・体 育のう ち2以 上の教 科を含 む	50	42	8 音楽・ 図画工 作・体 育のう ち1以 上の教 科を含 む。	26 (一教 科)	22 (一教 科)	12 音楽・ 図画工 作・体 育を各 4単位
	基 本 科 目	専攻以外 の各2 単位の 1教科	12 音楽・ 図画工 作・体 育のう ち2以 上の教 科を含 む	10						
	選 択		4				4			6
	計		16	26	50	42	12	26	22	18
	教 材 研 究		16	16			12 6教科 各2単 位以上 (音楽・ 図画工 作・体 育のう ち2科 目以上 含む)			
	教 科 教 育 法				3 (1教科)			3 (1教科)		
	教 育 原 理		4	4	4		4	4		4
	教 育 心 理		4	4	4		4	4		4
	道 徳 教 育 の 研 究		2	2	2		2	2		
	教 育 実 習		4	4	3		4	3		4
選 択		16	6	2						
計		46	36	18		26	16		12	
特 殊 育 (別表Ⅳによる)						26	26			
幼 稚 園 育 (別表Ⅴによる)									30	
計						26	26		30	
自 由 選 択		22	22	16	24	20	16	20	24	
特 別 研 究		専攻教科につき		専攻科目につき		専攻教科につき			専攻教科につき	
小 計		84		84		84			84	
合 計		140		140		140			140	

- 備考 1 小学校教員養成課程では、音楽・図画工作・体育3教科について基本科目各2単位を履修しなければならない。
 2 養護学校教員養成課程
 第一類は小学校教諭普通免許状を取得する課程である。
 第二類は中学校教諭普通免許状を取得する課程である。
 3 幼稚園教員養成課程では、音楽・図画工作・体育3教科について基本科目各4単位を修得しなければならない。
 4 一般教育科目36単位のうち、人文科学、社会科学、自然科学の三分野において、各2科目8単位計24単位以上を修得しなければならない。
 5 外国語科目、英語・ドイツ語のうち一つの外国語については、2単位をフランス語、中国語またはロシア語の単位で代えることができる。

別表 II (イ) 教職科目

学科目	授業科目		開設単位	小学校教員養成課程		中学校教員養成課程			養護学校教員養成課程		幼稚園教員養成課程	
				必	選	必	必	選	必	第一類	第二類	必
										必	必	
教育学	教育学	教育原理	4	4		4			4	4	4	
		教育課程	2		2		2					
		学習指導	4		4		2					
		生活指導(進路)	2		2		2					
	教育史	教育史	日本教育史	4		4		2				
			西洋教育史	4		4		2				
			教育哲学	2		2		2				
	教育制度	教育制度	教育行政	2		2		2				
			学校保健	2		2		2	2			
	教育社会学	社会学	教育社会学	4		4		2				
社会教育			2									
図書館学			4		4							
発達心理学	心理学	教育心理学	4	4		4			4	4	4	
		幼児心理学	4		4							
		児童心理学	4		4		2					
		青年心理学	4		4		2					
教材研究	教育科法	別表 II (ロ) 参照	17	16					12			
		別表 II (ロ) 参照	43			3				3		
		道德教育の研究	4	2		2			2	2		
		教育実習	4	4		3			4	3	4	
計			120	30	6	16	2	26	16	12		
				36		18						

備考 小学校教員養成課程の教育学および教育心理学専攻の学生のための教職科目は別表 III による。

別表 III

学 科 目		国 語 専 攻												
		授 業 科 目	開 講 単 位	小学校教員 養成課程			中学校教員 養成課程				養護学校教員養成課程		幼稚園教員 養成課程	
				必 修	選 修	必 修	必 修	選 修	必 修	選 修	第一類 選 修	第二類 必 修		
国 語 学	言語学概論	2					2							
	国 語	国語史	4				2		2				2	
		国語学概論	2	2		2		2				2	2	
		国語学各論	6			2	2		2				2	
	学	国語学演習	4	2		2		2					2	
		×音声言語	2					2	2					2
		×文章表現	1					1	1					1
		×児童話研究	2					2	2					2
		×国語概説	2							2				2
		国語学特別講義	4						4					
国 文 学		日本文学史	6	2		2	2		2			2	2	
	日本文学各論 I (古典文学)	8		2	4	2		2			2	2		
	日本文学各論 II (近代文学)	4		2	2			2				2		
	日本文学講読演習 I (古典文学)	6		1	2	1		3			1			
	日本文学講読演習 II (近代文学)	4		1	1	1		2			1			
	×児童文学講読演習	1		1				1	1				1	
	×文学概論	2						2	2				2	
	×日本文学概説	2							2				2	
日本文学特別講義	4						4							
漢 文 学	中国文学史	4		2		2		2				2		
	中国思想史	4		2		2		2				2		
	漢文学講読演習	4			2			2						
	漢文学特別講義	2						2						
書 道	書道史	8				2		6				2		
	書 法	書法 I (楷書)	3	1		1		2			1	1		
		書法 II (行書)	3	1		1		2			1	1		
		書法 III (草書)	3		1		1		2			1		
	道	書法 III (かな)	3		1		1		2			1		
		書法 III (篆隸)	3		1		1		2			1		
		×基礎書法 I (楷書)	1						1				1	
	×基礎書法 II (行書)	1						1				1		
	書道特別講義	2						2						
基本科目	×印のもの													
特設科目														
計		107		8	8	21	11				12	10		
				16		42			2	22		2		

備考 教材研究および教科教育法は、別表 II(ロ)に示す。

別表 III

		社 会 専 攻						養 護 学 校 教 育 学 成 課程		幼稚園 教員養成課程			
学 科 目	授 業 科 目	開 設 単 位	小 学 校 教 員 養 成 課 程			中 学 校 教 員 養 成 課 程							
			必 修	選 修	必 修	共 通 必 修	第 一 類 (歴 史)	第 二 類 (地 理)	第 三 類 (法 経)	第 一 類	第 二 類	選 修	
歴 史 学	日 本 史 学	×日本史学I (古代)	2	2	2						2	2	2
		×日本史学II (中世)	2	2	2						2	2	2
		×日本史学III (近世)	2	2	2						2	2	2
		×日本史学IV (現代)	2	2		2		2	2	2	2	2	2
		日本史学演習	4		6	4		4	4	4			
	東 洋 史 学	東 洋 史 学	4			4		4	4				
	西 洋 史 学	×西洋史学I (古代)	2	2	2						2	2	2
		×西洋史学II (中世)	2	2		2		2	2	2	2	2	2
		×西洋史学III (近代)	2	2	2						2	2	2
		西洋史学演習	4			4		4	4	4			2
歴史学	史 学 概 論	2			2		2	2					
考古学	考 古 学	2			2		2	2					
地 理 学	地	×地理学総論I	2	2	2						2	2	2
		×地理学総論II	2	2	2						2	2	2
	理 学	人文地理学各論 I	2				2	2		2			
		人文地理学各論 II	2				2	2		2			
		人文地理学各論 III	2				2	2		2			
		人文地理学各論 IV	2				2	2		2			
		人文地理学各論 V	2		6		2	2		2			
		自然地理学各論 I	2				2	2		2			
自然地理学各論 II	2				2	2		2					

法 律 学	地 理 学	地理学演習(巡検を含む)	5					5	5				5								
		×地誌学 I	4		4	4									4			4	4	2	
		地誌学 II	4					4	4					4					4		
		地図学	2					2	2					2							
		地形学	2					2	2					2							
	法 律 学	法 律 学	×法学概論	4		4	4								4				4	4	2
			憲法	4					4		4	4									
			民法	4					4		4	4									
			行政法	2					2		2			2							
			労働法	2					2		2	2									
			法学演習	4					4		4	4									
	政 治 学	政 治 学	政治学	4					4		4	4							4		
			×経済原論	4		4	4								4				4	4	2
	經 済 学	經 済 学	経済政策	2					2		2	2									
			経済史	2					2		2	2									
			経済学演習	4					4		4	4									
	社 会 学	社 会 学	社会学	4				4		4		4							4		
			哲学	2				2											2		
	倫 理 学	倫 理 学	倫理学	4				4		2		2		2					4		
			社会科特別講義	8				6	2	6	2	6	2								
基 本 目 録	×印のもの																				
特 科 目																					
計					16	30	12 演習を含む	8	12 演習2 巡検1 を含む	8	12 演習2 を含む	8									
									(必修)30		(必修)30										
			119	16		50		50		50		2	26					2			

備考 教材研究および教科教育法は、別表II(ロ)に示す。

別表 III

学 科 目		授 業 科 目		数 学 専 攻				養 護 学 校 教 員 課 程		幼 稚 園 教 員 課 程		
				開 設 単 位	小 学 校 教 員 課 程		中 学 校 教 員 課 程		第 一 類	第 二 類	選	
					必	選	必	選				選 必
		数 学 概 論	5					5				
代数学	×	代 数 学 I	3		3	3			3		3	2
		代 数 学 II	3		3	2	1				3	6
		初 等 整 数 論	3		3	3					3	
		代 数 的 整 数 論	2						2			
		行 列 論	2						2			
代数学 及び 幾何学	×	初 等 幾 何 学	2		2	2			2		2	2
		解 析 幾 何 学	4		4	4			4		4	2
		微 分 幾 何 学	2				2					6
		射 影 幾 何 学	2				2					
		画 法 幾 何 学	2		2				2		2	
		位 相 幾 何 学	4		4		4				4	
		非ユークリッド幾何学	2						2			
解析学	×	微 分 積 分 学	6		6	5	1		6		6	
		複 素 函 数 論	3		3		3				3	6
		実 函 数 論	3				3					
		× 集 合 論 及 び 点 集 合 論	3		3	3					3	2
		微 分 方 程 式 論	2						2			
		位 相 解 析	2				2					
解析学 及び 応 用 学	×	統 計 学	3		3	3			3		2	2
		測 量 学	2		2	2					2	
		確 率 論	2		2				2			
		計 測 法	2						2			
		× 計 算 法	2						2	2		2
		力 学	2						2			
		数 学 特 別 講 義	20					20				
基 本 目 的	×	印 の も の										
特 設 目 的												
計			88		16	27	8			4	18	
							7					
					16		42		2		22	2

備考 教材研究および教科教育法は、別表II(ロ)に示す。

別表Ⅲ

		理 科 専 攻											養護学校教員養成課程		幼稚園 教員養成課程		
学 科 目	授 業 科 目	開 設 単 位	小 学 校 教 員 養 成 課 程		中 学 校 教 員 養 成 課 程								養 護 学 校 教 員 養 成 課 程				
			必 選	必 選	共 通	第一類 (物理)		第二類 (化学)		第三類 (生物)		第四類 (地学)		第一類 選必		第二類	
						選必	選	選必	選	選必	選	選必	選			選必	選
物理学	一般物理学ⅠⅡⅢ	6	(I) 2	4	6									(I) (II) 4	(III) 2	(I) 2	
	物理学各論	16				16		16		16		16					
	物理学実験	4		2	2	2		2		2		2		2			
	物理数学	2				2		2		2		2					
	物理学演習	2				2		2		2		2					
	物理学特別講義	4				4											
	解析幾何学	2					2	2				2					
	微分積分学	4					2	2	4			2					
	複素函数論	2					2										
	計測法	2						2	2			2					
	統計学	3						3									
	計算法	2						2									
	測量学	2						2	2			2					
	微分方程式論	2						2									
	電子工学	2						2	2								
	機械工学概論	2														2	
	電気工学概論	2															
木工Ⅰ	1						1	1		1	1						
製 図	1						1	1		1	1						
化学	化学総論Ⅰ	2	2		2									2		2	
	化学総論ⅡⅢ	4		4	4								(II) 2	(III) 2			
	化学各論ⅠⅡⅢ	12				12	12		12		12						
	化学特別講義ⅠⅡⅢⅣ	8						8									
	化学実験Ⅰ	2		2	2								2				
	化学実験ⅡⅢⅣ	6					(II) (III) 4	2		6		6					
生物学	生物学総論ⅠⅡⅢ	6		6	6								(III) (II) 4	(I) 2	(I) 2		
	生物学名論	14				14		14	14		14						
	顕微鏡実験	2	2		2								2				
	生物学実験	7				7	7	7			7						
	◎生物学野外実習	2					2	2	2		2						
	生物学特別講義	3								3							
	衛生学Ⅰ	2					2	2		2							
	園芸学	2						2		2							
地学	地学総論ⅠⅡⅢ	6	(I) 2	(II) 2	6								(I) (II) 4		(I) 2		
	地学各論	16				16	16		16	16							
	地学実験ⅠⅡⅢⅣ	5		(I) 2	(I) 2		3	3		3	3		(I) 2				

	◎ 野外巡検	2				2	2		2	2				
	地学特別講義	5									5			
基 本 目	初等科目 (物理学, 化学)	1										1		
	初等科目 (生物学, 地学)	1										1		
特 設 目														
計		8	8	32	12	12		12		12		24	2	
			4 専門 教育科 目群よ り各2 単位宛		6	6		6		6				
		169	16	50		(+必 修32) 50		(+必 修32) 50		(+必 修32) 50	2	26	2	

備考1. ◎印は実験の単位として認める。
 2. 教材研究および教科教育法は、別表II(ロ)に示す。

別表 III

音 楽 専 攻												
学 科 目	授 業 科 目	開 設 単 位	小 学 校 教 員 課 程			中 学 校 教 員 課 程			養 護 学 校 教 員 課 程		幼 稚 園 教 員 課 程	
			必	選	必	必	選	選	第一類	第二類	必	
									選	必		
声 楽	ソルフェージュ	ソルフェージュ	5	1	1	2	1	2		2		
	声 楽 (合唱を 含む)	独 唱 法	8	1	1	3	2	3		4		
		合 唱 法	5		2	2	1	2		2		
	器 楽 (合奏を 含む)	ピ ア ノ 奏 法	8	1	1	3	2	3		4		
		弦 楽 器 奏 法	5		1	1	1	3				
		管 ・ 打 楽 器 奏 法	2					2				
		合 奏 法	5		2	2	1	2		2		
	器	指 揮 法	指 揮 法	2	1		2			2		
	楽 作 曲	音 楽 通 論	音 楽 通 論	2	2		2				2	2
			和 声 学 I II	4		2	2		2		2	
音 楽 理 論 及 び		対 位 法 I II	4				2	2				
		作 曲 法 I II	4		2	2		2				
音 楽 史		西 洋 音 楽 史 I II III IV	8	2	2	4		4		2		
		日 本 音 楽 史 I II	4				2	2				
		音 楽 美 学	4				2	2				
		音 楽 特 別 講 義	4				2	2				
基 本 科 目	ソルフェージュ	1						1		1		
	ピ ア ノ 奏 ・ 法	1						1		1		
特 設 科 目												
計				8	8	25	12					
							5					
			76	16			42		2	22	4	

備考 教材研究および教科教育法は、別表II(ロ)に示す。

別表 III

図画工作・美術専攻													
学 科 目	授 業 科 目		開 設 単 位	小 学 校 教 員 課 程		中 学 校 教 員 課 程				養 護 学 校 教 員 課 程		幼 稚 園 教 員 課 程	
				必	選	必	選	必	選	必	選	必	選
絵 画	絵 画	素 描 I	6	}	2	2	1	3		2		1	
		素 描 II	5			1	1	3		1			
		彩 画 I	6	}	2	2		4		2			
		採 画 II	5			1	2	2		1		1	
		版 画	2			1		1		1		1	
彫 塑	デ ザ イ ン	デ ザ イ ン I	6		1	2	2	2		2		1	
		デ ザ イ ン II	4		1	1	1	2		1		1	
		色 彩 学	2		1	1	1			1			
構 成	工 芸	木 工 I	4		2	1	1	2		1		1	
		木 工 II	4				2	2					
		金 工	2					2					
		窯 芸	4			2		2					
		図法および製図	2		1	1	1						
美術理論・美術史	彫 塑	彫 塑 I	8	}	2	2	2	4				1	
		彫 塑 II	10			1		9		4		1	
	美術理論 及び 美術史	美 学 概 論	4		2	2	2			2			
		美 術 教 育 論	4				2	2					
		日 本 美 術 史	6		2	2	2	2		2			
西 洋 美 術 史		6		2	2	2	2		2				
基本科目	美 術 史 演 習	2		1		1	1						
	基 本 図 画	1							1		1		
特設科目	基 本 工 作	1							1		1		
計			94		16	24	12		6		2	2	
								42		2	22	4	

備考 教材研究および教科教育法は、別表II(ロ)に示す。

別表Ⅲ

		体育・保健体育専攻								養護学学校教員養成課程			幼稚園教員養成課程		
学 科 目	授 業 科 目	開 設 単 位	小学校教員養成課程		中学校教員養成課程				第一類 選 必	第二類 選 必		必	選	必	
			必	選	必	選	必	選		必	選				
体 育 実 技	体 育 概 論	2	2		2					2				2	
	体 育 原 理 演 習	1	1		1										
	体 育 史 概 論	2			2					2					
	体 育 心 理 学	2	2		2					2					
	体 育 心 理 学 演 習 及 び 実 験 I II	2		3	2					2					
	体 育 社 会 学	2	2		2					2	2				
	体 育 社 会 学 演 習 I II	2			2					2					
	身 体 運 動 学	2	2		2					2					
身 体 運 動 学 演 習 及 び 実 験 I II	2	1		2					2						
体 育 生 理 学 及 び 衛 生 学	体 育 管 理	2	2		2					2					
	体 育 管 理 演 習 I II	2	2		2					2					
	運 動 概 論	2	2	2	2					2					
	舞 踊 概 論	2	2					2		2					
	コ ー チ ン グ 演 習 I II	2	2		2					2					
	社 会 体 育	2			2					2					
	レ ク リ ー シ ョ ン 論	2						2		2					
	体 育 測 定	2			2					2					
体 育 実 技	体 操	2	1		1			1		1				1	
	器 械 運 動	4	1		1	1	男1	2		1				1	
	陸 上 競 技	4	1		1	1	女2	2		1				1	
	グ ン ス	4	1		男1 女1	2		男2 女1		女1	女1			1	
	柔 道	2			1		男1	1		1	男				
	剣 道	2			1		男1	1		1	1				
	サ ッ カ ー	2	1		男1			1		男					
	バ レ ー ボ ー ル	2	1		1			1		1					
	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	3	1		1			2		1					
	ハ ン ド ボ ー ル	3			1			2							
	テ ニ ス	2			1		1	1							
	ソ フ ト ボ ー ル	2			1			1							
	水 泳	4	1		1	1		2		1				1	
	登 山	2	1		1		2	1		1					
ス キ ー	2	1	1	1			1		1						
ピ ア ノ 奏 法	2						2								
学 校 保 健	体 育 解 剖 学	2	2		2					2					
	体 育 解 剖 学 演 習	1			1										
	体 育 生 理 学	2	2	2	2					2		2	2		
	体 育 生 理 学 演 習	1	1		1					1					
	体 育 生 理 学 実 験	1	1		1					1					

体 育 理 論 ・ 体 育 史	学	発 育 学	2					2					
		栄 養 学 I	2					2					
		大 腦 生 理 学	2					2					
	衛 生 学	衛 生 学	2	2	}	2				2			2
		公 衆 衛 生 学	2			}	2						
		細 菌 及 び 免 疫 学	2		}					2			
		救 急 処 置 及 び 看 護 法	2	2		}	2						
	学 校 保 健	精 神 衛 生	2							2			
		学 校 保 健 管 理	2	2	}	2				2			
		健 康 教 育 概 論	2	2		}	2				2		2
	史	疾 病 の 予 防	2	2	}		2				2		
		特 別 演 習	2	2			2				1		
		保 建 体 育 特 別 講 義	12						12				
	基 本 科 目	初 等 科 体 育 I	1							1			1
		初 等 科 体 育 II	1							1			1
特設科目													
計			2	14	25	11			13	9	2	2	
						6							
		120	16		42		2	22		4			

備考 教材研究および教科教育法は、別表II(ロ)に示す。

別表 III

		家庭専攻												
学 科 目	授 業 科 目	開設 単 位	小学校教員 養成課程		中学校教員 養成課程		養 護 員 養成	学 校 教 育 課程	幼 稚 園 教 育 課程	第一類		第二類		選
			必 修	選 修	必 修	選 修				選 修	必 修	選 修		
食 物 学	×栄養学 I	2	2		2		2			2				
	栄養学 II	2		2		2								
	栄養学 III	2				2								
	×食品学 I	2		2		2					2			
	食品学 II	2				2								
	栄養及び食品学実験	4		1	2	1					1			
	×食品衛生	2		2		2								2
	食品衛生実習	1				1					1			
	調理科学	2				2								
	調理科学実験	1				1					1			
	×調理 I	2	1	1		2		1			1	1		
	調理 II	2				1	1					2		
	調理 III	3					2	1						
	食物史	2					2							
	生理学 I	2						2						
	生理学 II	2						2						
	顕微鏡実験	2						2						
	農産製造学	2						2						
被 服 学	×被服材料学	4		2		2	2				2			
	被服材料学実験	1		1		1								
	×被服整理学	4	2			2	2	2			2			
	被服整理学実験実習	1				1								
	染色学	2				2								
	染色学実験実習	1		1		1					1			
	×服飾美学	2		2		2					2			
	服飾史	2			2		2							
	被服学演習	1				1								
	被服衛生学	2				2					2		2	
	被服衛生学実験	1				1								2
	被服構成学	2				2								
	被服構成学実験	1		1		1					1			
	被服工作 I	3	1			2	1	1			1			
被服工作 II	3		1		1	1	1			1				
×被服工作 III	2		1			1	1							
衣 服 実 習	素描 I	2					2							
	彫塑 I	2					2							
	×住居学	4		2		2		2	2		2			
	住居学演習	2					2							

学 庭 管 理	居学	家庭工作	2		} 2	1		1			1			
		製 図	2	1			1	1				1		
	家庭経営	家政学原論	2	2			2				2	} 2		
		家庭管理	2	2		2			2		2			
		家庭管理演習	2				1	1						
		家庭経済	4				2	2			2			
		生活統計学	2					2						
		×家族関係	4			2		2		2			2	
		民法	2					2						
	育 児	×育児学 I	2	2		} 2	2				2		2	
		育児学 II	2					2				2		
		幼児心理学	2						2					
		×家庭看護学同演習	2				1	1				1		1
		家庭看護実習	2	1					1					
	家庭機械 電 気	家庭機械・家庭電気	2	2			2				2			
		家庭機械・家庭電気実習	2				1	1			1			
		家庭科特別講義	10					10						
	基本科目	×印のもの												
	特設科目													
	計			8	8		34	12	4		16	10		
		125	16		50		2		26		2			

備考 教材研究および教科教育法は、別表II(ロ)に示す。

別表Ⅲ

学 科 目		授 業 科 目		開 設 単 位		中 学 校 教 員 養 成 課 程				養 護 学 校 教 員 養 成 課 程	
						第 一 類		第 二 類		第 二 類	
						共 通 必 修	選 必	選	選 必	選	必
木 材 加 工	製 図	図 学	2	2						2	
		機 械 製 図	2	2						2	
		木 材 加 工 法	4			4	4				
		木 工 実 習	2	2						2	
		造 形 設 計 ・ 同 演 習	2		1	1	1	1			
	金 属 加 工	金 属 加 工 法	2	2						2	
		金 工 実 習	2	2						2	
	機 械	機 械 工 学 概 論	4	4						4	
		工 業 力 学	2			2	2				
		材 料 力 学	4			4	4				2
機 構 学		2			2	2					
熱 機 関		2			2	2					
精 密 測 定 ・ 精 密 機 械		2			2	2					
機 械 設 計 法		4			4	4					
機 械 工 作 法		2			2	2				2	
機 械 材 料		2			2	2					
機 械 工 学 演 習		2			2	2					
電 気	電 気	機 械 工 学 実 験 ・ 実 習	2	2						1	
		電 気 工 学 概 論	4	4						4	
		電 気 磁 気 学	4			4	4				
		電 気 回 路	2			2	2				
		電 子 工 学	4			4	4				2
		電 力 機 械	4			4	4				
		電 気 計 測	2			2	2				
		電 力 応 用	2			2	2				2
		電 子 機 器	2			2	2				
		電 気 工 学 演 習	2			2	2				
機 械		電 気 工 学 実 習	2	2						1	
		電 気 工 学 実 験	2			2	2				
		作 物 学	4		4			4			2
		栽 培 学	4	2	2			2		2	
		育 種 学	2		2			2			
		園 芸 学	4	2	2			2			2
		畜 産 学	6		6			6			
		飼 料 学	2		2			2			
		病 虫 害 防 除 論	2		2			2			
		土 壤 肥 料 学	4		4			4			
農 産 製 造 学	4		4			4					

農 業	農 業	食 品 化 学	2		2			2			
		農 業 地 理 学	2		2			2			
		農 業 經 営 学	4		4			4			
		作 物 学 実 験	1	1							
		栽 培 学 実 験 実 習	2	1	1			1	1		
		畜 産 学 実 験 実 習	2	1	1			1			
		農 業 実 習	2	1	1			1	1		
		農 業 機 械 実 習	1		1			1			
		農 芸 化 学 実 験	1		1			1			
	産業概説	産 業 概 説	2	2						2	
		職業指導	職 業 指 導 原 理	4	2		2		2		2
	職 業 指 導 の 技 術		4			4		4			
			技 術 史	2			2		2		
			水 産 学 概 論	2			2		2		
			商 業 概 論	2			2		2		
			統 計 学	3			3		3		
			微 分 積 分 学	4			4		4		
			微 分 方 程 式 論	2			2		2		
			一 般 物 理 学 I II	4			4		4		
計 測 法			2			2		2			
化 学 総 論 I II III			6			6		6			
生 物 学 総 論 I II III			6			6		6			
特設科目	技 術 科 特 別 講 義	6			6		6				
計				34	10		10		24	2	
					6		6				
			172		50		50		26		

別表 III

		英 語 専 攻							
学 科 目	授 業 科 目	開 設 単 位	中学校教員養成課程			養護学校教員養成課程			
			必	選 必	選	第 二 類			
						必	選	必	
英 語 学	言 語 学 概 論	2		2					
	英 語 学	英 語 音 声 学	4	4			2	2	
		英 語 史	2		2			2	
		英 文 法	4	4			2	2	
		英 語 学 演 習	10	2	2	6			
		英 語 学 特 別 講 義	6			6		6	
英 米 文 学	英 文 学 史	4	4			2	2		
	米 文 学 史	2		2			2		
	英 米 文 学 講 読 I	5	}	}	}	}	}	}	
	英 米 文 学 講 読 II	5							
	英 米 文 学 講 読 III	5							
	英 米 文 学 講 読 IV	5							
	英 米 文 学 演 習	5	2	2	1				
	英 米 文 学 特 別 講 義	6			6		6		
	英 会 話 及 英 作 文	英 会 話 I	5	}	}	}	}	}	}
		英 会 話 II	4						
英 作 文 I		5	}	}	}	}	}	}	
英 作 文 II		4							
特設科目									
計			28	8					
				6		14	8		
		83	42		22				

備考 教科教育法は、別表II(ロ)に示す。

別表 IV

特殊教育専攻

学 科 目	授 業 科 目		開 設 単 位	第 一 類・第 二 類			
				必	選 必		
異 常 児 心 理	異 常 児 教 育	特 殊 教 育 概 論	2	2			
		精 薄 児 教 育 概 説	2	2			
		精 薄 児 の 指 導	2		2	} 2	
		特 殊 教 育 行 政	2		2		
	異 常 児 心 理	異 常 児 の 心 理	異 常 児 の 心 理	2	2		
			精 薄 児 の 心 理	2	2		
		精 薄 児 の 心 理 演 習	精 薄 児 の 心 理 演 習	2	1		
			精 薄 児 の 診 断 実 習	1		1	} 1
			精 薄 児 の 心 理 学 実 験	1		1	
	異 常 児 の 病 理 ・ 保 護	異 常 児 の 病 理 ・ 保 護	精 薄 児 の 病 理 保 健	2	2		
			小 児 精 神 医 学	2		2	} 2
			精 神 衛 生	2	2		
異 常 児 の 病 理 ・ 保 健 演 習			1		1		
異 常 児 の 病 理	異 常 児 教 育 実 習	大 脳 生 理 学	2		2		
		精 薄 児 教 育 実 習	4	2			
		精 薄 児 教 育 課 程 論	精 薄 児 教 育 課 程 論	2		2	} 6
			特 殊 教 育 演 習	1		1	
			臨 床 心 理 学	2		2	
			人 格 心 理 学	2		2	
			幼 児 心 理 学	2		2	
			児 童 心 理 学	2		2	
			精 神 病 理 学	2		2	
			グ ル ー プ ゲ イ ナ ミ ッ ク ス	2		2	
			学 校 保 健 管 理	2		2	
			衛 生 学	2		2	
	救 急 処 置 及 び 看 護 法		2		2		
言 語 治 療	2		2				
教 育 評 価	2		2				
特 設 科 目							
計			54	15	11		
				26			

別表 VI

職業指導、保健の各免許状取得のための開設授業科目

免許状の種類	教育職員免許法施行規則で規定する専門科目	関係授業科目	開設単位	備考
職業指導	職業指導	職業指導原理	4	
	職業指導の技術	精神検査（実習2を含む）	4	
		面接相談の技術	4	
	職業指導の運営管理	職業指導の運営管理	4	
		職業情報	2	
		職業分析と自己分析	2	
保健	学校保健	保健評価実習	2	
	衛生学	運動衛生学	2	
計			24	

別表 V 幼稚園教育専攻

学 科 目	授 業 科 目	開 設 単 位	必 須	選 修 必 須	選 修	
幼 児 教 育 心 理 保 育 内 容 の 研 究	幼 児 教 育	幼 児 教 育 概 論	2		2	} 2
		幼 児 教 育 史	2		2	
		幼 児 の 環 境 と 文 化	2		2	
		幼 児 教 育 方 法 論	2		2	} 2
		幼 児 教 育 課 程 論	2		2	
		幼 児 教 育 演 習	2	2		
	幼 児 心 理	幼 児 心 理 学	4	2		
		幼 児 心 理 研 究 法	2		2	} 2
		幼 児 の 精 神 衛 生	2		2	
		学 習 心 理 学	2		2	
		教 育 心 理 学 実 験 I	2	1		
		幼 児 心 理 演 習	2	1		
	保 育 内 容 の 研 究	保 育 内 容 の 研 究 (総 論)	2	2		
		同 (健 康)	2	2		
		同 (自 然)	2	2		
		同 (言 語)	2	2		
		同 (音 楽 リ ズ ム)	2	2		
		同 (絵 画 製 作)	2	2		
		同 (社 会)	2		2	} 2
同 (家 庭)		2		2		
同 (体 育)		1			1	} 4
同 (ダ ン ス)		1			1	
同 (歌 唱)		1			1	
同 (器 楽)		1			1	
同 (音 楽 鑑 賞)		1			1	
同 (彫 塑)	1			1		
同 (デ ザ イン)	1			1		
同 (作 品 の 見 方)	1			1		
特 設 目						
計		50	18	8	4	
				30		

別表 IX 取得できる免許状の種類

課 程	免 許 状 の 種 類	
小 学 校 教 員 養 成 課 程	小 学 校 教 諭 1 級 普 通 免 許 状	
中 学 校 教 員 養 成 課 程	中 学 校 教 諭 1 級 普 通 免 許 状 の 教 科	高 等 学 校 教 諭 2 級 普 通 免 許 状 の 教 科
	国 語 社 会 数 学 理 科 音 楽 美 術 工 芸 書 道 保 健 体 育 保 健 庭 業 職 業 指 導 英 語 技 術	国 語 社 会 数 学 理 科 音 楽 美 術 工 芸 書 道 保 健 体 育 保 健 庭 業 農 業 職 業 指 導 英 語
養 護 学 校 教 員 養 成 課 程	養 護 学 校 教 諭 1 級 普 通 免 許 状 お よ び 小 学 校 教 諭 2 級 普 通 免 許 状 ま た は 中 学 校 教 諭 2 級 普 通 免 許 状	
幼 稚 園 教 員 養 成 課 程	幼 稚 園 教 諭 1 級 普 通 免 許 状	

備考 教育職員免許法施行規則に定める所定の単位を修得したときは、所属課程以外の免許状をあわせて取得することができる。

諸 会 議

第5回評議会（6月8日）

（報告事項）

- (1) 東海北陸地区国立大学長会議について
- (2) 国立大学協会第3常置委員会について
- (3) 昭和49年度国立学校特別会計予算の概算要求の基本方針について
- (4) 停学処分の解除について
- (5) 評議会における継続審議、検討事項について

（審議事項）

- (1) 富山大学改革に関する答申書について
- (2) その他
 - (イ) 学内予算の原案作成について
 - (ロ) 公開質問状について

第6回評議会（6月25日）

（報告事項）

- (1) 国立大学長会議について
- (2) 国立大学協会第52回総会について
- (3) 学生の懲戒について

（審議事項）

- (1) 富山大学附属図書館工学部分館長候補者について
- (2) 昭和48年度当初学内予算配分（案）について
- (3) 医学部設置について
- (4) 昭和49年度概算要求について
- (5) 富山大学質量分析装置室運営規則の制定（案）について
- (6) 富山大学質量分析装置室運営委員会規則の制定（案）について
- (7) 富山大学廃水処理室運営規則の制定（案）について
- (8) 富山大学廃水処理室運営委員会規則の制定（案）について

- (9) 公開質問状について

第2回大学院委員会（7月6日）

（審議事項）

- (1) 富山大学大学院薬学研究科規則の一部を改正する規則（案）について
- (2) 昭和49年度富山大学大学院薬学研究科および工学研究科（修士課程）学生募集要項について
- (3) 富山大学大学院工学研究科推せん入学に関する申合せ事項について
- (4) 富山大学大学院工学研究科推せん入学取扱要項について

第7回評議会（7月6日）

（報告事項）

- (1) 医科大学問題について
- (2) 昭和49年度富山大学大学院薬学研究科および工学研究科（修士課程）学生募集要項について

（審議事項）

- (1) 富山大学大学院薬学研究科規則の一部を改正する規則（案）について
- (2) 学生の懲戒について
- (3) 公開質問状について

第4回事務協議会（7月16日）

（議題）

- (1) 昭和48年度国立学校庶務部課長会議について
- (2) 職組の動向について
- (3) 非常勤職員の取り扱いについて

第8回評議会（7月27日）

（審議事項）

- (1) 富山大学教育学部規則の一部を改正する規則（案）について
- (2) 昭和48年度特別昇給定数（教官）の配分について
- (3) 昭和49年度富山大学入学者選抜方法等および学力検査実施教科、科目（案）について
- (4) 昭和49年度入学試験問題作成主任委員について
- (5) 学生の懲戒について

人 事 異 動

現 官 職	氏 名	異 動 内 容	発令年月日	発 令 者
教 授 (薬 学 部)	山 崎 高 應	富山大学薬学部附属薬園長に併任する (併任の期間48. 4. 12~50. 4. 11)	48. 4. 12	文 部 大 臣
	林 勝 次	富山大学長に採用する (任期48. 6. 13~52. 6. 12)	48. 6. 13	文 部 大 臣
富 山 大 学 長	後 藤 秀 弘	昭和48年6月12日限り任期満了により退職した	〃	〃
富 山 大 学 長	林 勝 次	富山大学評議員に併任する 富山大学経営短期 薬部学長に併任する (併任の期間48. 6. 13~52. 6. 12)	〃	〃

	赤羽 惠子	助教授(教育学部)に採用する	48. 6. 16	文部大臣
	山野井 敦徳	講師(教育学部)に採用する	48. 6. 16	富山大学長
講 師 部 (教 育 学 部)	渡 邊 英 二	助教授(教育学部)に昇任させる	48. 6. 16	文部大臣
	岩 崎 三 枝 子	事務補佐員(経済学部)に採用する	48. 6. 18	富山大学長
事 務 補 佐 員 部 (薬 学 部)	岩 城 恭 子	辞職を承認する	48. 6. 19	富山大学長
臨 時 用 務 員 部 (教 育 学 部 炊 婦)	見 角 紀 代	辞職を承認する	48. 6. 23	富山大学長
文 部 事 務 官 部 (経 理 部 主 計 課 警 務 員)	高 見 茂 義	辞職を承認する	48. 6. 30	富山大学長
" (経 理 部 経 理 課 作 業 員)	大 坪 力 蔵	"	"	"
" (文 理 学 部)	奥 野 武 則	"	"	"
文 部 技 官 部 (教 育 学 部 調 理 員)	上 野 ひ ろ	"	"	"
	菅 谷 孝	助手(文理学部)に採用する	48. 7. 1	富山大学長
文 部 技 官 部 (工 学 部)	佐 貫 須 美 子	助手(工学部)に昇任させる	"	"
	高 見 茂 義	臨時用務員(経理部主計課警務員)に採用する	48. 7. 2	富山大学長
	こくぶん 國 分 みより	事務補佐員(薬学部)に採用する	48. 7. 9	富山大学長
事 務 補 佐 員 部 (文 理 学 部)	水 上 礼 子	辞職を承認する	48. 7. 11	富山大学長
教 授 部 (工 学 部)	宮 下 和 雄	富山大学附属図書館工学部分館長に併任する (併任の期間48. 7. 13~50. 7. 12)	48. 7. 13	文部大臣
	宮 野 紀 美 子	事務補佐員(文理学部)に採用する	48. 7. 16	富山大学長
	辻 美 智 子	臨時用務員(教育学部炊婦) "	"	"
教育学部庶務係長	伊 東 與 三 次	国家公務員法第79条第1号により休職にする (休職の期間48. 7. 21~48. 12. 26)	48. 7. 21	富山大学長
教育学部事務長補佐	加 藤 昭 作	教育学部庶務係長事務取扱を命ずる	48. 7. 21	文部大臣

学 内 諸 報

学 位 取 得 者

取得者 経済学部 助教授 瀬岡 吉彦
 取得学位 経済学博士(大阪市立大学)
 取得年月日 昭和47年12月21日
 学位論文 設備投資と経済成長の理論

学内レクリエーション

▶ボウリング大会

実施月日 7月21日(土)午後1時~
 場 所 とやまクラウンズボウル
 入賞者 優勝 吉本徳行(本)
 次勝 高木行則(本)
 三位 五百崎喜明(本)
 H G 吉本徳行

▶釣大会

実施月日 7月29日(日)午前4時30分~
 場 所 新湊漁港沖
 入賞者 優勝 村田正義(教)
 次勝 田中祥男(教)
 三位 福山 浩(本)
 大物賞 井上 浩(工)

昭和48年度科学研究費補助金交付内定者一覧

○一般研究C

所属部局・職	氏名	補助金額 (千円)	研究課題
文理学部・教授	児島毅	1,000	3ミリ波領域での気相遊離基の常磁性共鳴
薬学部・助教授	北川泰司	1,100	ノズル分子線による励起種の発光の研究
薬学部・教授	木村正康	1,630	コリン作働性機作におけるミオグロビンの薬理的役割について
薬学部・教授	渡辺和夫	900	胃液分泌の機能調節と薬物作用に関する研究

○奨励研究A

文理学部・助手	鳴橋直弘	250	日本産ハンノキ属植物の系統関係
教育学部・講師	竹内茂弥	300	カルバミン酸エステル類およびその誘導体とホルムアルデヒドとの反応による新しい合成樹脂製造ならびにその応用に関する研究
工学部・助教授	宮下尚	300	タービュレンスプロモーターによる高プラントル数流体の熱(物質)伝達
工学部・助手	松木賢司	260	展伸用強力亜鉛合金(Zn-Cu-Mg-Mn系)の時効硬化現象

○試験研究(2)

文理学部・教授	小林貞作	1,180	栽培ゴマの放射線遺伝学に基づく改良の研究
工学部・教授	池田正夫	940	海水より化学試薬類, 金属マグネシウム, カルシウムの一貫製造法の確立に関する研究

○自然災害特別研究(1)

文理学部・教授	中川正之	1,800	黒部峡谷の新雪なだれ
---------	------	-------	------------

○がん特別研究(2)

薬学部・教授	塚田欣司	3,000	癌細胞におけるポリヌクレオチドリカーゼの機能
--------	------	-------	------------------------

○研究成果刊行費

文理学部・助教授	山口博	670	王朝歌壇の研究一字多・醍醐・朱雀朝篇
----------	-----	-----	--------------------

海外渡航者

氏名	所属	官職	渡航の種類	渡航先国	目的	期間
小橋恭一	薬学部	助教授	外国出張	スウェーデン オーストリア ドイツ連邦共和国	第9回国際生化学会議出席論文発表およびオーストリア, ドイツ連邦共和国の大学等で講演ならびに意見交換	48.6.29) 48.7.22
間野潜龍	文理学部	教授	外国出張	フランス, 連合王国 ドイツ連邦共和国 イタリア, スイス	第29回国際東洋学会議出席および欧州各国の学界, 専門研究者意見交換	48.7.14) 48.7.31
塚田欣司	薬学部	教授	外国出張	アメリカ合衆国	動物細胞における核酸の生合成の機構について研究のため	48.7.20) 48.10.31

職 員 消 息

〈改 姓〉

薬 学 部

文部技官 宮越壽美子 (旧姓 藤沢)

〈住所変更〉

事 務 局

文部事務官 涌井三枝子

〃 塚田 健夫

文 理 学 部

講 師 中本 昌年

助 手 菅谷 孝

教 育 学 部

講 師 佐々木 浩

助 手 西川 友之

教 諭 中山宇之一

文部事務官 加藤 昭作

用 務 員 松下 イト

経 済 学 部

教 授 山崎 佳夫

助 手 泉田 栄一

文部事務官 安部 吉孝

薬 学 部

文部事務官 涌井 芳朗

工 学 部

助 教 授 龍山 智栄

文 部 技 官 森田 憲治

教 養 部

講 師 鴨野 幸雄

〃 丸山 珪一

附 属 図 書 館

文部事務官 牧野 秀應

主 要 日 誌

本 部

- 6月1日 学寮補導委員会、補導協議会合同会議
 4日 計算センター運営委員会
 5日 廃水処理委員会
 7日 レクリエーション委員会
 8日 第5回評議会
 13日 林新学長就任
 16日 国立富山医科大学誘致期成同盟会役員会 (於 県民会館)
 19～20日 国立大学協会第52回総会 (於 国立教育会館)
 21日 国立大学長会議 (於 国立教育会館)
 補導協議会
 22日 第13回国立短期大学協議会総会
 25日 第1回施設整備委員会
 26日 緊急補導協議会
 第6回評議会
 28日 国立学校事務電算化講習会 (於 金沢大学)
 28～29日 第7回東海北陸地区国立大学事務局長会議
 (於 名古屋大学)
 29日 補導協議会
 7月3～5日 昭和48年度国立学校労務専掌職員協議会 (於 熱海農林年金会館)
 6日 第2回大学院委員会
 第7回評議会
 7～8日 第25回北陸三大学学生総合体育大会 (於 福井大学)
 12日 栄典事務担当者会議 (於 称名荘)
 16日 第4回事務協議会
 19日 補導協議会
 授業料減免選考委員会
 教職員組合早朝職場集会
 21日 学内ボウリング大会 (於 とやまクラウンズホール)
 24日 公務員宿舎委員会
 入試管理委員会
 入学者選抜方法研究委員会
 27日 第8回評議会
 29日 学内釣大会 (於 新湊漁港沖)

文 理 学 部

- 6月6日 教授会
人事教授会
学部補導委員会
- 10日 真率会レクリエーション(宮崎海岸)
- 15日 理学科教官会議
- 19日 選考委員会(数理統計学)
- 20日 教授会
人事教授会
文学科教官会議
- 22日 文学科・理学科2年次学生(2月専門課程移行者)後学期授業終了
- 25日 文学科・理学科3年次学生前学期授業開始
- 27日 定期健康診断(内診)
文学科教官会議
- 7月4日 教授会
立山研究室運営委員会
- 11日 理学科4年次学生・理学専攻科学生前学期13週授業終了
- 14日 文学科4年次学生前学期13週授業終了
理学科3年次学生前学期3週授業終了
文理学部同窓会理事会
- 18日 教授会
- 19日 文学専攻科学生前学期13週授業終了
立山研究室開設
- 25日 学部補導委員会
- 28日 文学科3年次学生前学期5週授業終了

教 育 学 部

- 6月4～5日 日本教育大学協会北陸地区第2部会音楽科
研究協議会
- 6日 教授会
教務委員会
紀要編集委員会
- 8日 第2回精薄研究発表会(特殊学級)
- 12日 附属中学校研究発表会
- 13日 定期健康診断
附属中学校特殊学級春の遠足
- 14日 人事教授会
- 15日 特別教職課程委員会
- 18日 補導委員会
附属小学校春の遠足
- 20日 教務委員会
教育実習委員会

- 26日 附属学校合同運動会
- 27日 教務委員会
補導委員会
教務・補導合同委員会
- 29日 図書委員会
- 7月3日 附属中学校春の遠足
- 4日 教務委員会
補導委員会
- 9日 補導委員会
- 10日 予算委員会
- 11日 教授会
- 18日 教務委員会
人事教授会
附属幼稚園終業式
- 21日 前学期授業終了
- 23～25日 補講
- 23日 附属小学校終業式
- 24日 補導委員会
附属中学校終業式
- 25日 教授会
- 26日 夏季休業
- 26～28日 附属小学校林間学校
- 27～29日 附属中学校特殊学級合宿訓練
- 31日 北陸3県附属中学校交歓会(於 福井大学附属
学園)

経 済 学 部

- 6月2日 第5回第二学科設置準備委員会
- 4日 第5回学部補導委員会
- 14日 第17回教務委員会
- 19日 第2回日本海経済研究所運営委員会
- 20日 第8回教務委員会
第7回教授会
第1回日本海経済研究所所員会議
- 25日 第9回教務委員会
- 26日 第2回学部職業補導委員会
- 27日 第6回学部補導委員会
- 7月3日 第7回学部補導委員会
- 4日 第8回教授会
第6回第二学科設置準備委員会
- 14日 3年次学生前学期授業開始
- 16日 4年次学生夏季休業
- 17日 第8回学部補導委員会
- 21日 3年次学生夏季休業

薬学部

- 6月2日 附属薬草園運営委員会（第1回）
- 6日 健康診断
- 11日 カリキュラム検討委員会（第12回）
- 13日 教授会
研究科委員会
- 15日 特別講義実施
（名古屋大学農学部教授 後藤俊夫氏）
（理化学研究所 辰野高司氏）
- 19日 講座連絡会議
- 20日 研究科委員会
- 27日 教授会
人事教授会
- 29日 学部図書委員会
- 7月3日 共同利用研究施設装置管理運営委員会
薬学会北陸支部富山地区幹事会
- 4日 カリキュラム検討委員会（第13回）
- 5日 人事教授会
- 11日 学部補導委員会
- 12日 教授会
- 12～13日 アイソトープ検診
- 14日 薬学会北陸支部幹事会
- 16日 予算委員会
薬学研究科夏季休業
- 18日 教授会
- 19日 学部学生夏季休業
- 19～20日 アイソトープ検診
- 26～27日 アイソトープ検診
- 30日 カリキュラム検討委員会（第14回）
- 31日 カリキュラム検討委員会（第15回）

工学部

- 6月4日 教務委員会
- 6日 一般教授会
専任教授会
研究科委員会
- 7日 学部補導委員会
- 13日 一般教授会
研究科委員会
- 27日 一般教授会
- 7月7日 教職員厚生事業運営委員会
- 11～8月31日 4年次学生夏季休業
- 22～8月31日 3年次学生夏季休業
- 25日 学部補導委員会

- 一般教授会
研究科委員会
専任教授会

教養部

- 6月6日 教授会
- 7・8日 第9回12大学教養部事務長連絡会議（於
埼玉大学）
- 13日 教授会
- 20日 教授会
- 27日 補導委員会
教授会
- 7月4日 教授会
- 11日 補導委員会
教授会
- 12日 教務委員会
- 17日 特昇、その他給与に関する委員会
紀要委員会
- 18日 補導委員会
教授会
- 19日 予算委員会
- 23日 選考委員会
- 25日 教授会
- 28日 48年度前学期授業終了（15週）

附属図書館

- 6月5日 商議会
- 12・13日 国立大学図書館協議会総会（於 新潟大学）
- 22日 事務打合せ会
商議会
- 7月6日 事務打合せ会
- 10日 レファレンス・ルーム小委員会
- 12日 田中工学部分館長任期満了
- 13日 工学部分館長に宮下和雄教授併任発令
- 17日 中央図書館のあり方検討小委員会
- 28日 期間外開館休止（夏季休業による）

経営短期大学部

- 6月12日 教授会
- 22日 第13回国立短期大学協議会総会（於 虎の門共
済会館）
- 7月10日 教授会
- 12日 入試問題作成委員会

17日 教授会
前学期授業14週終了
18~19日 補講
20日 夏季休業

編集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 第一共同印刷株式会社
富山市太郎丸1220-2
電話 ㊦ 0196(代)